

ダイフェン配合錠・ダイフェン配合顆粒

【この薬は？】

販売名	ダイフェン配合錠 DAIPHEN Tablets	ダイフェン配合顆粒 DAIPHEN Granules
一般名	スルファメトキサゾール・Sulfamethoxazole トリメトプリム・Trimethoprim	
含有量	1錠中 スルファメトキサゾール 400mg トリメトプリム 80mg	1g中 スルファメトキサゾール 400mg トリメトプリム 80mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗菌剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、細菌に必要な葉酸の生合成を阻害する成分と、葉酸の活性化を阻害する成分の2つの有効成分を配合することにより、相乗的に抗菌作用を示します。
- ・次の目的で処方されます。

1. 一般感染症

<適応症>

- 肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染
- 複雑性膀胱炎、腎盂腎炎
- 感染性腸炎、腸チフス、パラチフス

<適応菌種>

スルファメトキサゾール／トリメトプリムに感性の腸球菌属、大腸菌、赤痢

菌、チフス菌、パラチフス菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンシア・レットゲリ、インフルエンザ菌

2. ニューモシスチス肺炎の治療及び発症抑制

<適応症>

ニューモシスチス肺炎、ニューモシスチス肺炎の発症抑制

<適応菌種>

○ニューモシスチス・イロベチー

- ・この抗菌薬は、自己判断で飲むのを止めたり、1回分を減らしたりしないでください。指示どおりにきちんと飲まないと、治療効果が低下するばかりでなく、原因菌がこの薬に効かない菌に変化したり、他の抗菌薬も効かなくなる可能性があります。指示どおりに飲み続けることが重要です。
- ・この薬をニューモシスチス肺炎の発症抑制に用いる場合は、ニューモシスチス肺炎を発症する可能性のある次のような人が対象となります。
 - ・免疫抑制剤を使用している人
 - ・免疫抑制状態の人
 - ・過去にニューモシスチス肺炎にかかったことがある人

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬により、血液障害（再生不良性貧血、溶血性貧血、巨赤芽球性貧血、メトヘモグロビン血症、汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少症、血栓性血小板減少性紫斑病、溶血性尿毒症症候群）、ショックなどの重篤な副作用があらわれることがあるので、他の抗菌剤が無効または使用できない場合に使用されます。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にダイフェン配合錠またはダイフェン配合顆粒に含まれる成分やサルファ剤で過敏症のあった人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
 - ・低出生体重児、新生児
 - ・グルコース-6-リン酸脱水素酵素（G-6-PD）が欠乏している人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・貧血、出血しやすいなど血液の病気がある人、または過去にかかったことがある人
 - ・本人または両親、兄弟が気管支喘息、発疹、じんましんなどのアレルギー症状を起こしやすい体質をもつ人、または過去に他の薬で過敏症のあった人
 - ・葉酸欠乏または葉酸代謝異常のある人（胃の摘出手術をしたことがある人、他の葉酸代謝拮抗剤を使用している人、出産して間もない人、先天性葉酸代謝異常症の人など）
 - ・急性ポルフィリン症の人
 - ・腎臓に障害のある人
 - ・肝臓に障害のある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの年齢や症状などにあわせて、医師が決めます。
腎臓に障害のある人では、飲む量が調節される場合があります。

【一般感染症の場合】

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	ダイフェン配合錠	ダイフェン配合顆粒
1回量	2錠	2g
飲む回数	1日2回	1日2回

【ニューモシチス肺炎の治療の場合】

通常、成人および小児の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名		ダイフェン配合錠	ダイフェン配合顆粒
1日量	成人	9～12錠	9～12g
	小児	体重1kgあたりトリメトプリムとして15～20mg	
飲む回数		1日3～4回に分けて飲みます。	

【ニューモシチス肺炎の発症抑制の場合】

通常、成人および小児の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名		ダイフェン配合錠	ダイフェン配合顆粒
1回量	成人	1～2錠	1～2g
	小児	体重1kgあたりトリメトプリムとして2～4mg	
飲む回数	成人	1日1回、連日又は週3日	
	小児	1日2回、連日又は週3日	

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

なお、ダイフェン配合顆粒は有効成分の苦味を除くためコーティングをしているので、かまずに水またはジュースなどで飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついたときに、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

吐き気、嘔吐（おうと）、下痢、精神神経系症状（頭痛、めまいなど）、結晶尿、血尿などがあらわれる可能性があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、すぐに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の副作用について十分に理解できるまで説明を受けてください。この薬を飲んで血液障害（貧血、出血しやすいなど）や発疹などの皮膚の異常があらわれた場合は、すぐに医師に連絡してください。
- ・副作用の早期発見のため、必要に応じ臨床検査（血液検査、肝機能検査、腎機能検査、血中電解質など）が行われます。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	めまい、体がだるい、息切れ、動悸（どうき）、あおあざができる、出血が止まりにくい、発熱、寒気、喉の痛み
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	体がだるい、めまい、息切れ、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
巨赤芽球性貧血 きよせきがきゅうせいひんけつ	しびれや痛みを伴う舌炎、動く時の息切れ、動悸
メトヘモグロビン血症 メトヘモグロビンけっしょう	手足の爪が青紫～暗紫色になる、唇が青紫色になる、体がだるい、めまい、頭痛、耳鳴り、動悸、息切れ
汎血球減少 はんけつきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛み
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
血小板減少症 けっしょうばんげんしょうしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
血栓性血小板減少性紫斑病 けっせんせいけっしょうばんげんしょうせいしはんびょう	発熱、体がだるい、あおあざができる、鼻血、歯ぐきの出血、尿量が減る、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、意識の低下
溶血性尿毒症症候群 ようけつせいにようどくしょうしょうこうぐん	尿量が減る、むくみ、体がだるい、意識の低下、意識の消失、けいれん、深く大きい呼吸、食欲不振、紫色のあざ
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失

重大な副作用	主な自覚症状
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
中毒性表皮壊死融解症 (TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう (テン)	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス-ジョンソン症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (スティーブンス-ジョンソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
多形紅斑 たけいこうはん	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、発熱、関節や喉の痛み
薬剤性過敏症症候群 やくざいせいかびんしょうしょうこうぐん	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節 (首、わきの下、股の付け根など) のはれ
急性膵炎 きゅうせいすいえん	吐き気、嘔吐 (おうと)、激しい上腹部の痛み、背中での痛み、お腹にあざができる、お腹が張る
偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎 ぎまくせいたいちょうえんとうのけつべんをともなうじゅうとくなだいちょうえん	腹痛、血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、発熱、頭痛、吐き気、冷汗が出る、顔面蒼白、手足が冷たくなる、お腹が張る、水のような便が出る、便に血が混じる (鮮紅色～暗赤色)
重度の肝障害 じゅうどのかんしょうがい	体がだるい、吐き気、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる (鮮紅色～暗赤色または黒色)、意識の低下
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
間質性腎炎 かんしつせいじんえん	発熱、発疹、関節の痛み、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、むくみ、尿量が減る
無菌性髄膜炎 むきんせいずいまくえん	発熱、頭痛、吐き気、うなじがこわばり固くなって首の前に曲げにくい
末梢神経炎 まつしょうしんけいえん	指先のしびれ、筋力の低下
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	発熱、咳、息苦しい、息切れ
PIE 症候群 ピーアイイーしょうこうぐん	発熱、咳、息苦しい、息切れ
低血糖発作 ていけつとうほっさ	冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下

重大な副作用	主な自覚症状
高カリウム血症 こうカリウムけっしょう	体のしびれ、体に力が入らない、吐き気、嘔吐、下痢、 お腹が張る
低ナトリウム血症 ていナトリウムけっしょう	けいれん、意識の低下、頭痛、吐き気、嘔吐
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手足のしびれ、手足のこわばり、筋肉の痛み、 尿が赤褐色になる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	体がだるい、出血が止まりにくい、発熱、寒気、出血しやすい、 突然の高熱、むくみ、けいれん、冷汗が出る、ふらつき、リン パ節（首、わきの下、股の付け根など）のはれ、体がかゆくな る、急激に体重が増える、疲れやすい、体のしびれ、体に力が 入らない、脱力感
頭部	めまい、頭痛、意識の低下、意識の消失、うなじがこわばり固 くなって首を前に曲げにくい
顔面	鼻血、顔面蒼白、血の気が引く
眼	白目が黄色くなる、目の充血やただれ
耳	耳鳴り
口や喉	喉の痛み、しびれや痛みを伴う舌炎、唇が青紫色になる、歯ぐ きの出血、喉のかゆみ、唇や口内のただれ、吐き気、嘔吐、血 を吐く、咳
胸部	息切れ、動悸、動く時の息切れ、深く大きい呼吸、息苦しい
腹部	食欲不振、激しい上腹部の痛み、お腹が張る、腹痛
背中	背中での痛み
手・足	手足の爪が青紫～暗紫色になる、手足が冷たくなる、関節や喉 の痛み、関節の痛み、指先のしびれ、手足のふるえ、手足のこ わばり、手足のしびれ
皮膚	あおあざができる、皮膚が黄色くなる、紫色のあざ、全身のか ゆみ、じんま疹、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶ くれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる 環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が広い範囲で赤くな る、全身性の発疹、お腹にあざができる、発疹
筋肉	筋力の低下、筋肉の痛み
便	血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、水のような便 が出る、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）、便に血が混じる（鮮 紅色～暗赤色または黒色）、下痢
尿	尿量が減る、尿が赤褐色になる、尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

販売名	ダイフェン配合錠	ダイフェン配合顆粒
形状	錠剤 	顆粒剤 

販売名	ダイフェン配合錠	ダイフェン配合顆粒
PTPシート /SPシート		
直径	約 11.0mm	—
厚さ	約 5.1mm	—
重さ	約 500mg	—
色	白色	白色～微褐色
識別コード	TSU341	TSU343

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ダイフェン配合錠	ダイフェン配合顆粒
有効成分	スルファメトキサゾール、トリメトプリム	
添加物	ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースカルシウム、ステアリン酸マグネシウム	白糖、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースカルシウム、ヒプロメロース、含水二酸化ケイ素

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：鶴原製薬株式会社 (<http://www.tsuruhara-seiyaku.co.jp>)

医薬情報部： 電話 072-761-1456(代表)

受付時間 : 9:00～17:30(土、日、祝日を除く)